

どう使われたか、私たちの

税金、議員が総点検

歳入

問 3年度のふるさと納税の状況と返礼品の内容は。

財政課長・産業経済課長 約1,280万円の寄付があった。返礼品は22事業者、45品目で、お茶などのみずほブランド、シクラメン、ゴルフクラブなどの工業製品など。また、ポータルサイトの活用による町のPR効果もあったと考える。

問 スマホ決済を導入し、予算で400件700万円を見込んでいたが成果は。

税務課長 町民税から国民健康保険税まで、5つの税目で2,830件、金額では約5,474万円であった。

子育て

問 おひさまキッチンの成果は。また、他の学校でも実施の要望はあったか。

福祉課長 アンケート調査を行った。子どもたちからは「楽しく食べられる」保護者からは「早起きするようになった」学校側からは「集中力が少し上がってきたのではないかと」いった回答を得ている。3年度、他の学校からの要望はないが、新たな学校での実施も考えていきたい。



おひさまキッチン (四小)



討議対象となった施策 (P8・P9 参照)

安全・安心

問 3年度における女性消防団の活動内容は。

安全・安心課長 女性団員10名中、上級救急救命講習の受講、火災予防週間での広報活動、小学校の防災教育への参加など14回の活動に延べ37人が参加した。



防災教育で活躍する女性消防団員 (三小)

問 災害対策として備蓄する食料や資器材の3年度の購入実績は。

協働推進部参事 主なものは、アレルギー対応の非常食を概ね2万食、新型コロナウイルス感染対策として、ベッドと間仕切りを購入した。

福祉・健康

問 3年度、高齢者の居場所づくりが1か所開設されたが、成果と今後の展開は。

高齢者福祉課長 週に1回以上の活動、介護予防体操の実施などの条件を満たすことで月4,000円の補助金対象団体となる。今回、長岡南会館で活動が始まった。高齢者の居場所づくりを、各地区にできるように推進していきたい。

問 コミュニティバス運行となり、福祉バスが廃止になったが、障がい者福祉施設への送迎はどのように対応したのか。

福祉課長 福生警察署や事故防止の講習会も事前に行うなど9月から1か月かけて準備をした。「さくら」は22名、「ひまわり」は8名、「ころぼっくる」は9名の送迎を行っている。

問 オンラインシステム委託料約630万の成果は。

健康課長 政府がマイナンバーカードを利用して、生涯にわたる健康診査の結果をスマートフォン等で確認できるパーソナル・ヘルス・レコード構想を進めている。そのために必要なシステム改修を行った。

まちづくり

問 令和3年度にスタートした町道3号線(役場通り)の無電化事業の進捗状況は。

建設課長 設計委託を行った。電線の地中化に向け道路共同溝を設置するため、占用位置、試掘箇所を検討や都と補助金認定の協議を行った。

問 町道の改修工事に約1,800万円、舗装工事に約4,800万円支出しているが計画性を持って取り組んだのか。

建設課長 一時的な補修や大規模な工事案件として都の補助金を使うなど、現場を見て必要に応じて優先順位をつけて行った。舗装工事については総面積で4,919㎡、距離で約1,256mの工事を行った。計画については4年度に道路整備方針を策定中。



道路の打ち替え舗装工事

産業

問 遊休農地はどの程度解消されたのか。

産業経済課長 農地の貸借として、3年度末で26万5,000㎡の利用権設定が行われた。また、農地中間管理事業による農地の貸借が1万296㎡行われた。その結果合計で約2万5,000㎡の遊休農地が解消された。

問 町のキャラクター「みずほまる」が、町のPRや観光振興にどのように活用されたのか。

産業経済課長 コミュニティバスへのプリント、LINEスタンプ、スタンドパネル、職員のポロシャツや法被作成、各種印刷物や町の封筒への印刷などでPRした。産業活性化のため、キャラクター使用のガイドラインを作り、民間事業者や住民が主体となった活用を促進した。

教育

問 学力向上事業の成果は。

教育指導課長 中学校の平均正答率が部分的に全国平均よりも15~20ポイント近く下回った。しかし、小学校の国語や中学校の英語で部分的に全国平均を上回ったものもある。今後、指導体制の充実と授業改善の視点を明らかにする実践的な研究活動を行っていく。

問 「学びのテーマパーク」「ふるさと学習みずほ学」の推進に向けて、協働推進部や福祉部など他の部署との連携は行ったか。

教育指導課統括指導主事 不足している人材については教育委員会事務局で探したが、他の部署への問い合わせは実施していない。今後は連携していく必要があると思っている。

雨水・汚水対策

問 元狭山地区の不明水対策工事が予算に対し設計委託料が約320万円、工事費が約1,400万円と大幅に減額になっているが、3年度の目標は達成できたのか。

下水道課長 当初、補修箇所を200カ所と想定し予算を組んだが、契約前に精査し、約140カ所の改修に絞ったため金額が下がった。進捗率は76.2%で、目標を達成することができた。

問 3年度に駒形ポンプ場の汚水ポンプ3台を交換したが成果は。

下水道課長 元狭山地区約6,300人分の汚水を大雨の時でも問題なく圧送でき処理場まで送ることができた。大変成果があったと考えている。



交換された汚水ポンプ